

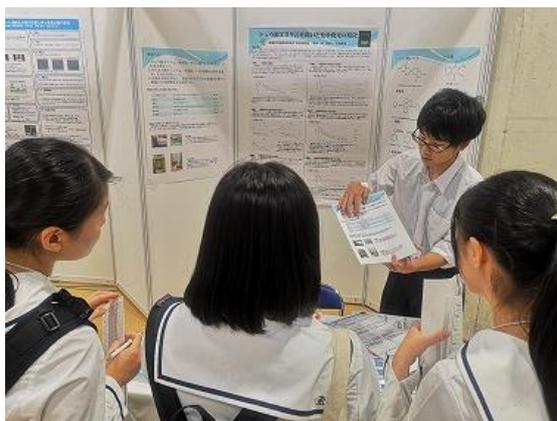
平成30年度SSH生徒研究発表会

夏休み中の8月8日（水）～9日（木）に、神戸国際展示場において平成30年度SSH生徒研究発表会が開催され、本校の科学研究部化学班の生徒5名が参加し、発表を行ってきました。

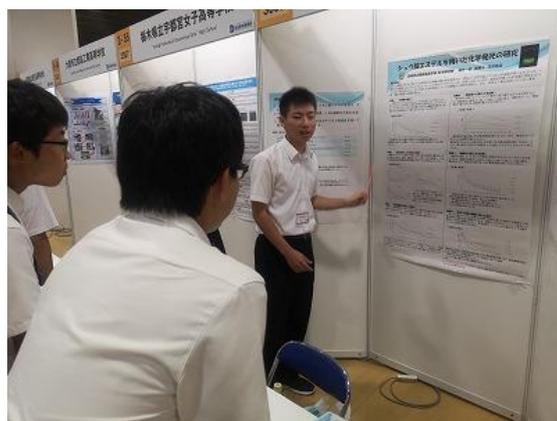
8日の午前中は、「You can be a scientist from today. ～野に咲く可憐な花々に魅せられて～」という演題で、東京理科大学特任副学長の秋山仁先生による講演がありました。身の回りにもたくさんの研究対象があり、しかも、それらの多くが、まだ研究されていなかったり、研究されていても十分な結果が得られていなかったりするという内容で、生徒たちはとても刺激を受けていました。

この発表会は日本全国のみならず、海外の高校生も一堂に会する発表会なので、今までの発表会とは違った考え方を知ることができ、大変有意義な2日間でした。海外の高校生の研究・発表は、日本よりもレベルが高い低いといったことではなく、研究課題の目の付け所や探究手法の選択の仕方など、とても参考になることが多く、生徒たちは目を輝かせながら発表を聞いたり質問をしたりしていました。

科学研究部化学班のメンバーは「シュウ酸エステルを用いた化学発光の研究」というタイトルでポスター発表を行いました。このテーマは科学研究部化学班が継続的に研究を行っているもので、化学班5名のうち2名は理数科3年生ということもあり、7月の「SS課題研究発表会」でも発表を行っています。その時に運営指導委員の先生方や他校の先生方から頂いた助言を生かし、短い時間ではありましたが、さらに研究をブラッシュアップしてこの発表会に臨みました。7月の発表会からの期間は約2週間と大変短かったのですが、今まで培ってきたチームワークでSS課題研究発表会よりもさらに良い発表を行うことができました。



発表の様子



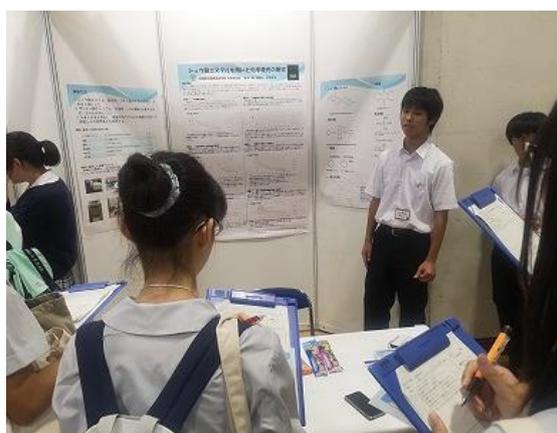
発表の様子



演示の様子



発表の様子



発表の様子



お疲れ様でした